

臨床研修制度の導入が 地域医療に与えた影響

臨床研修制度の評価に関するWG

新潟大学医学部長

高橋 姿

都道府県(従業地)別にみた人口10万対医師数

(人)

350

平成22(2010)年12月31日現在

300

250

全国230.4人

200

150

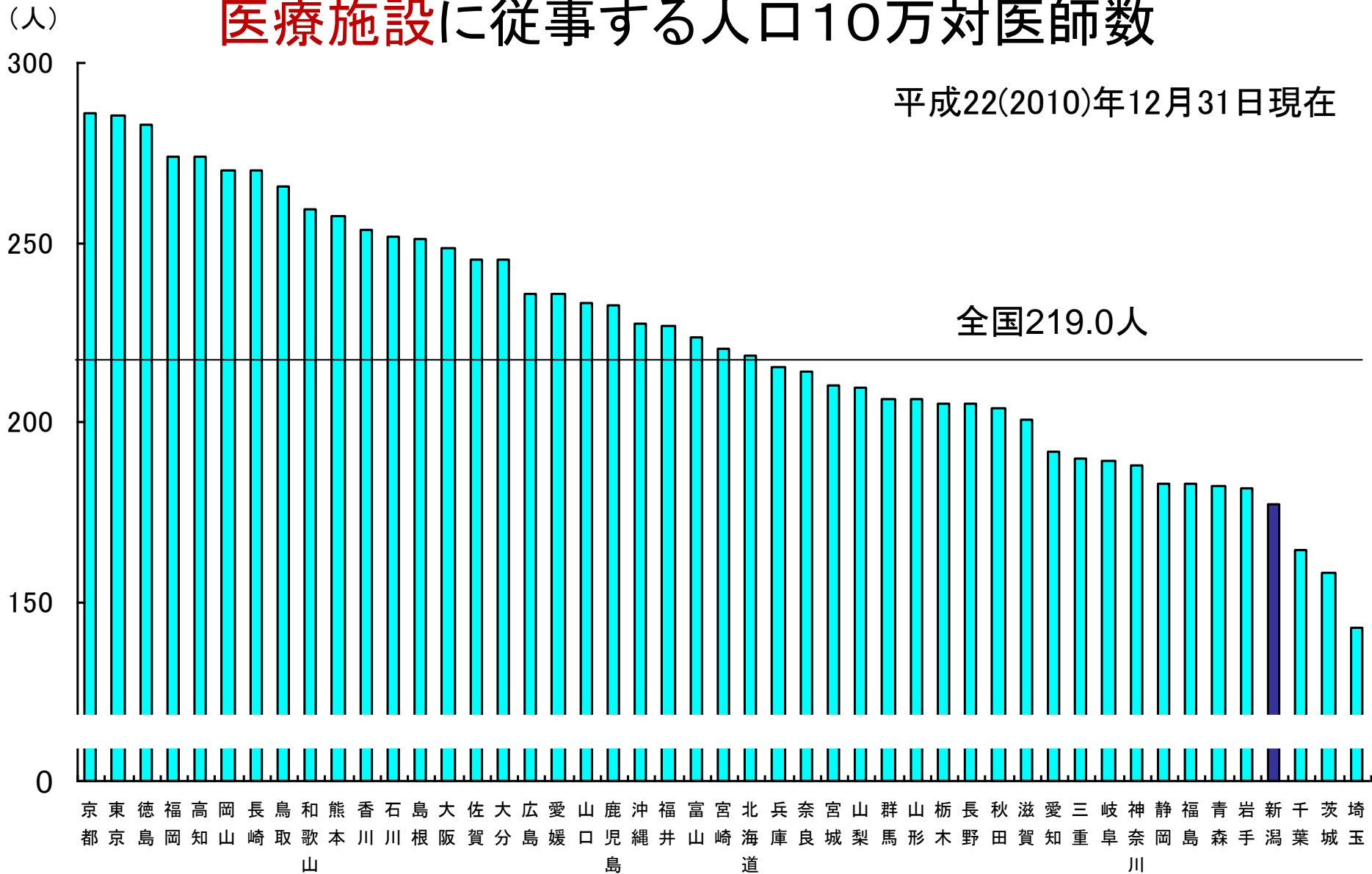
0

徳島 東京都 京都府 福岡県 鳥取県 高知県 長崎県 岡山県 熊本県 和歌山県 石川県 香川県 島根県 大分県 佐賀県 大分県 広島県 山口県 愛媛県 鹿児島県 富山県 福井県 沖縄県 宮崎県 北海道 北九州 兵庫県 宮城県 山形県 奈良県 山梨県 群馬県 栃木県 長野県 秋田県 滋賀県 愛知県 三重県 神奈川県 岐阜県 岩手県 青森県 新潟県 福島県 静岡県 千葉県 茨城県 埼玉県

新潟県191.2人, 42位

都道府県(従業地)別にみた 医療施設に従事する人口10万対医師数

平成22(2010)年12月31日現在



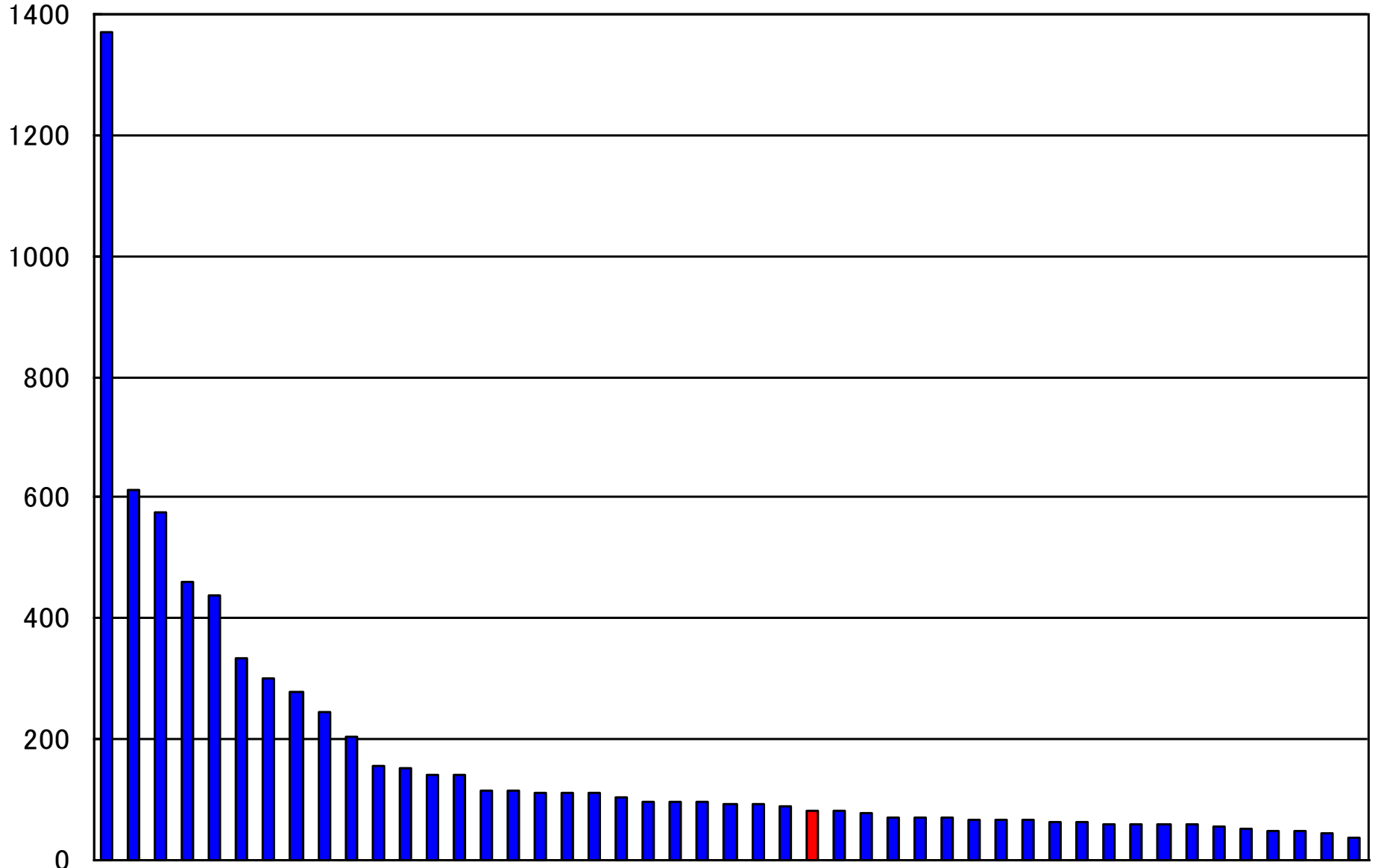
新潟県177.2人, 44位

新潟県の臨床研修制度



平成23年研修医マッチングの結果

(名)

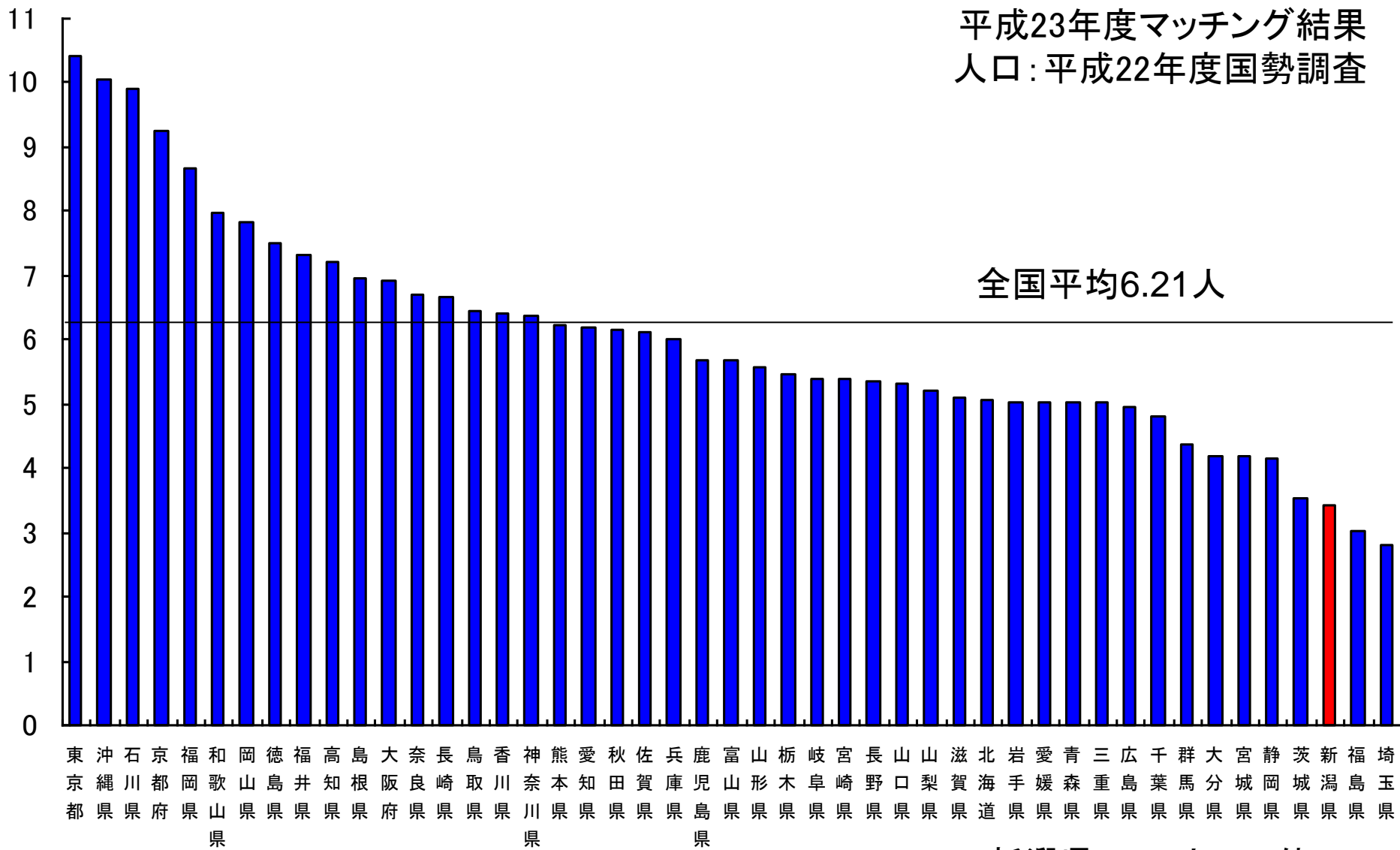


新潟県 81名, 27位

都道府県別にみた人口10万対マッチ者数

(人)

平成23年度マッチング結果
人口：平成22年度国勢調査

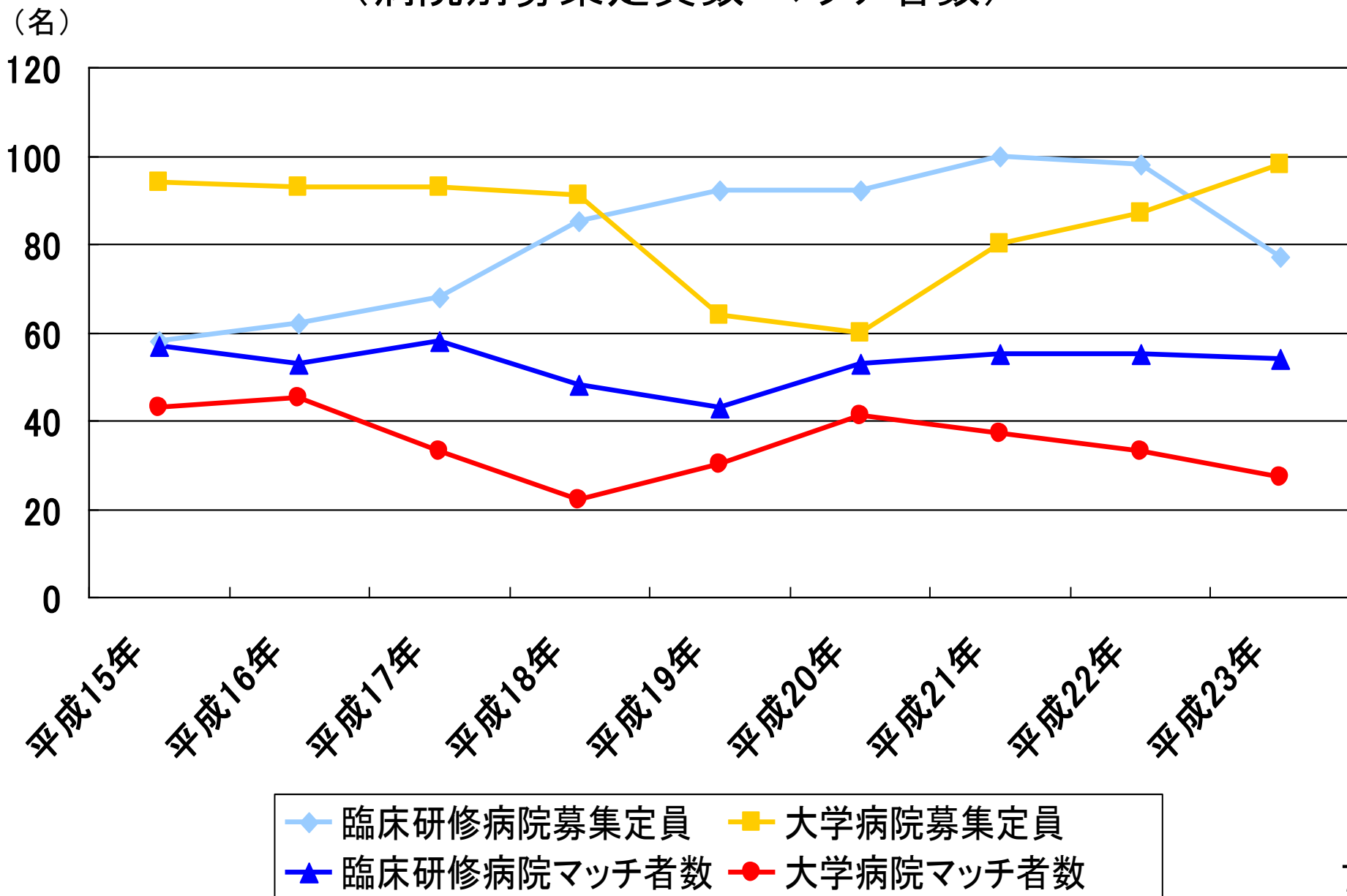


全国平均6.21人

新潟県 3.41人, 45位

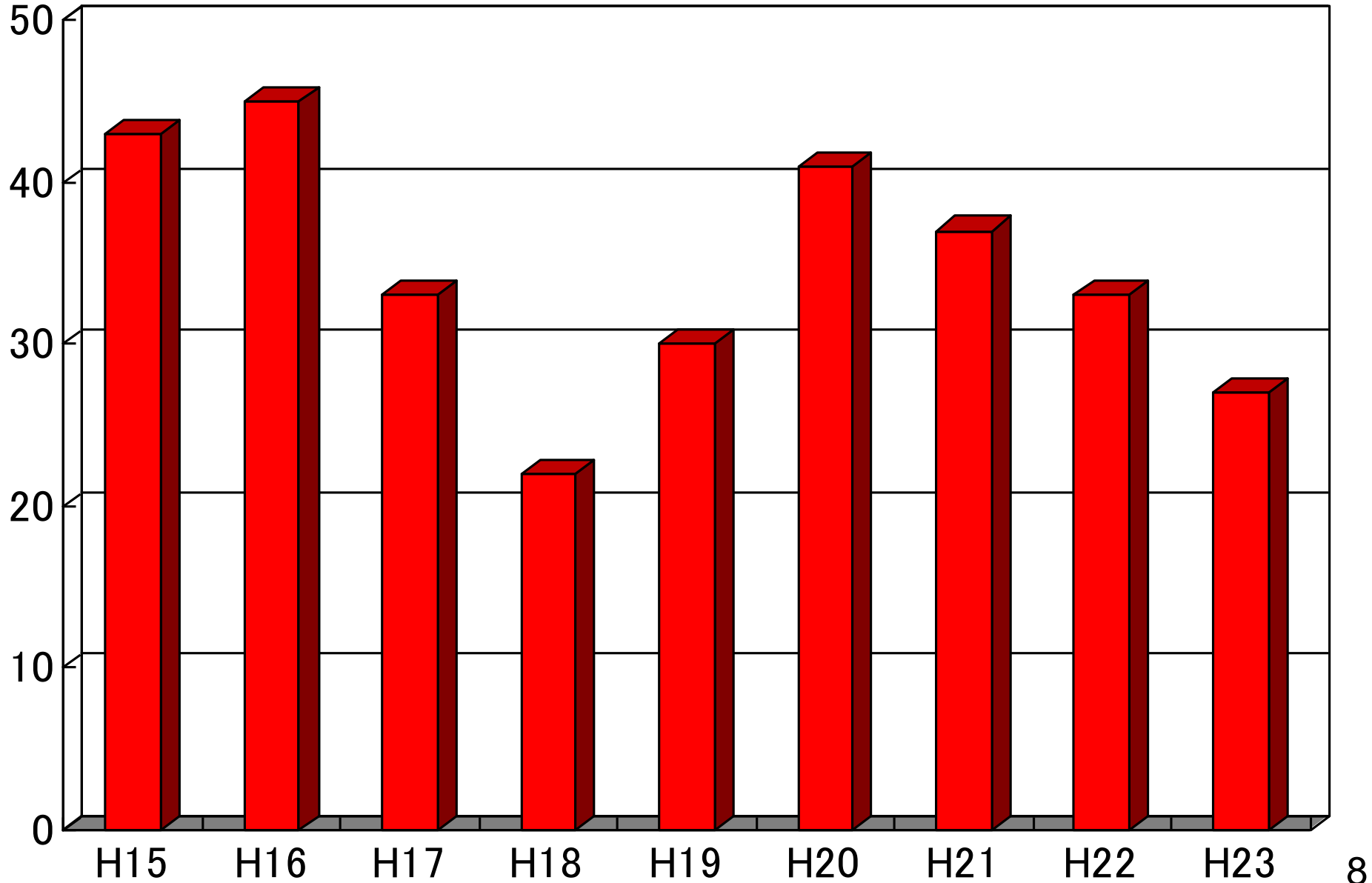
新潟県内研修医マッチングの動向

(病院別募集定員数・マッチ者数)



新潟大学病院マッチ者数

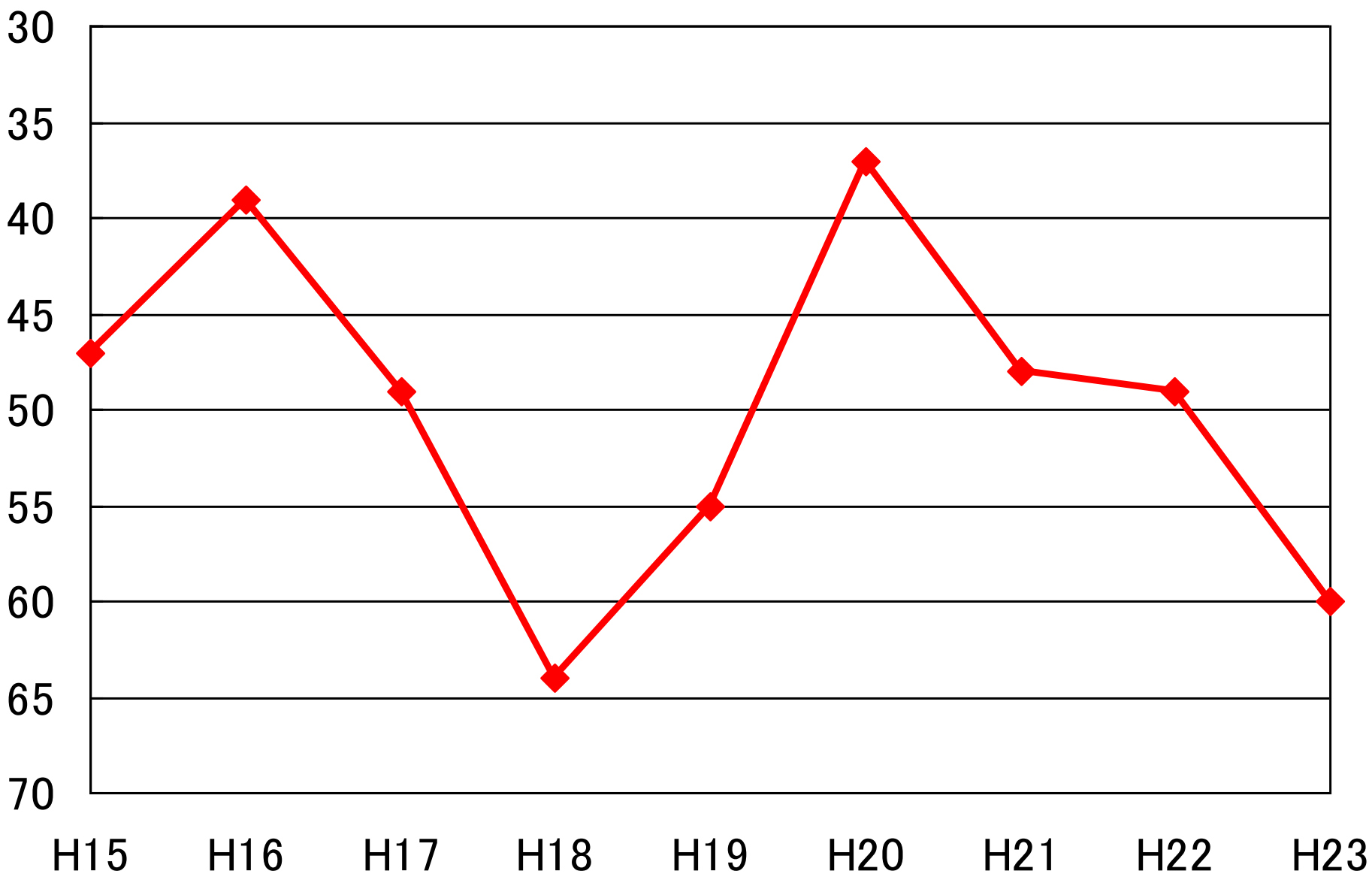
(名)



新潟大学病院マッチ者数の順位

(全国医科大学・医学部本院79病院中)

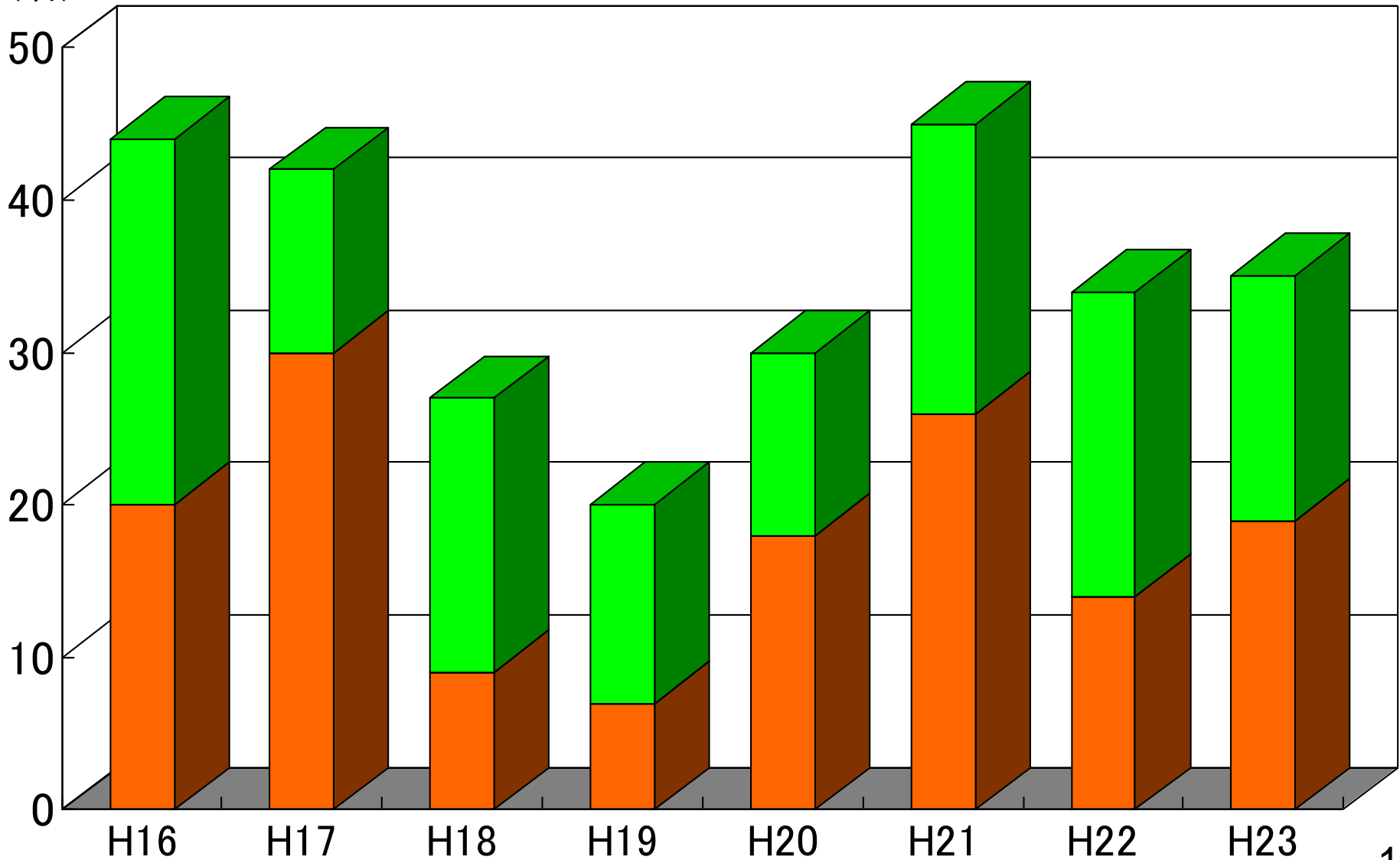
(位)



新潟大学病院の卒後臨床研修実施者(出身大学別)

■ 新潟大学卒 ■ 新潟大学以外卒

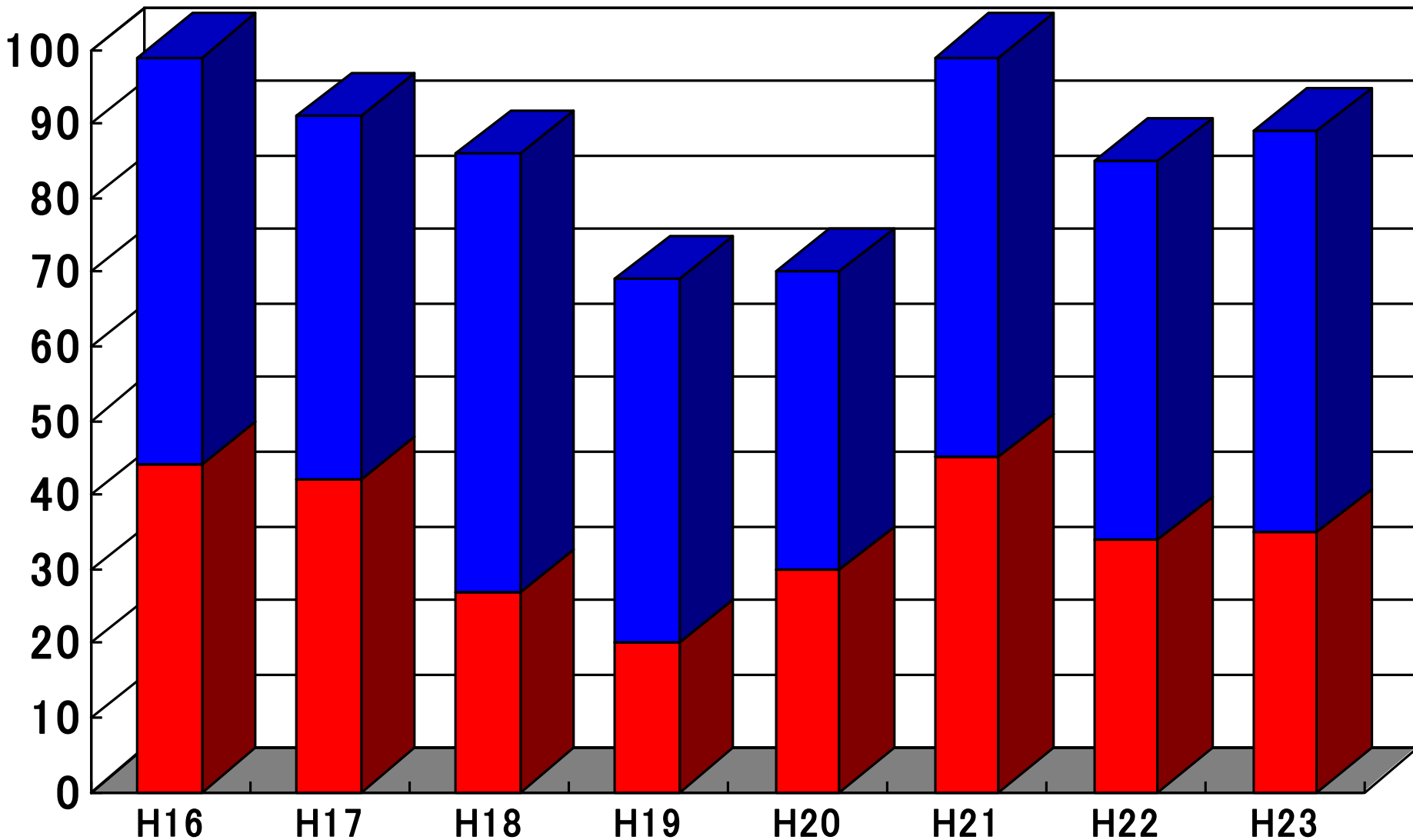
(名)



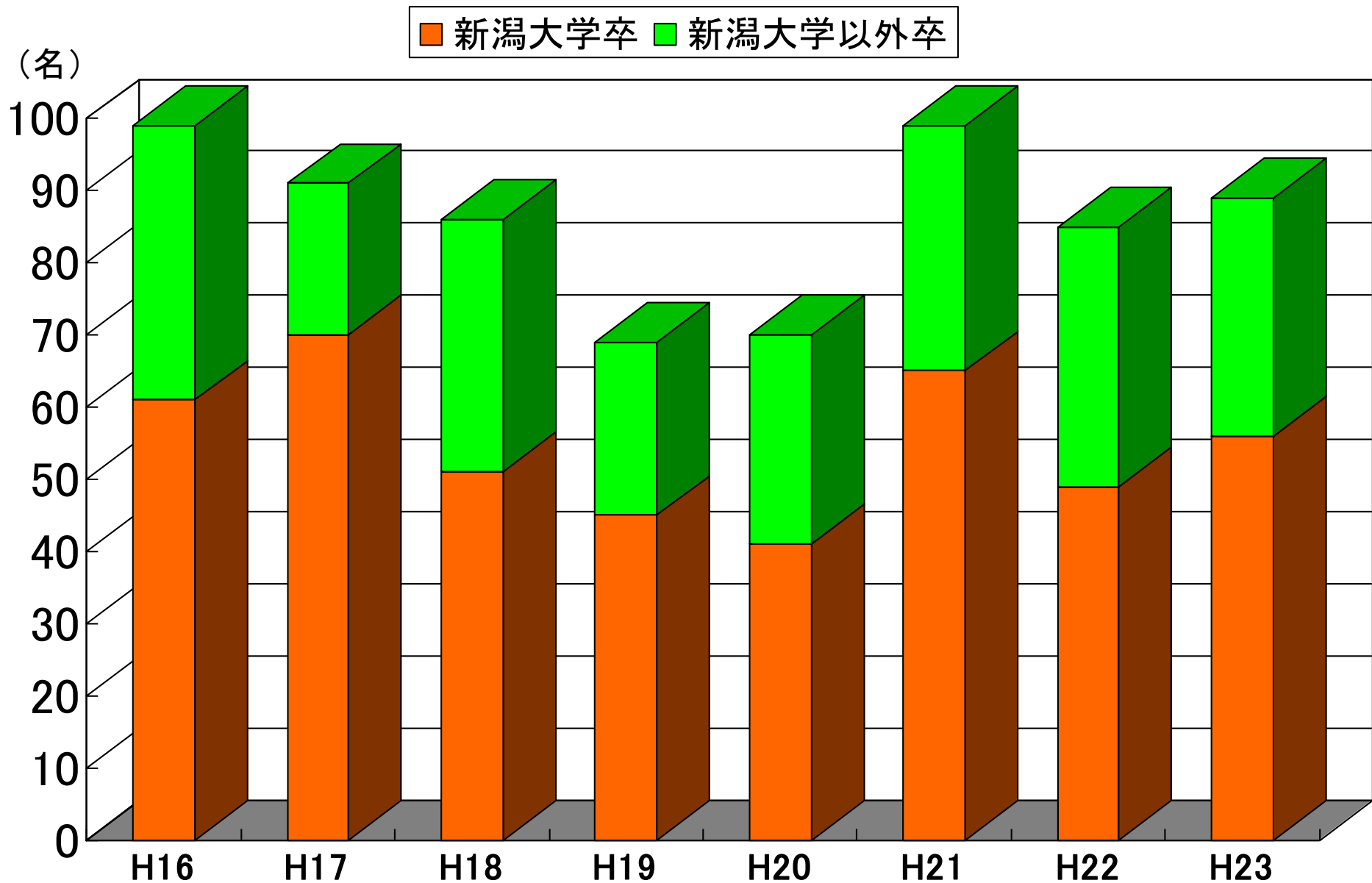
新潟県内の臨床研修実施者（病院別）

■ 新潟大学病院 ■ 臨床研修病院

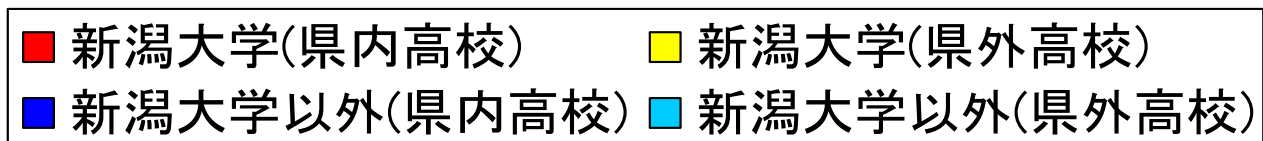
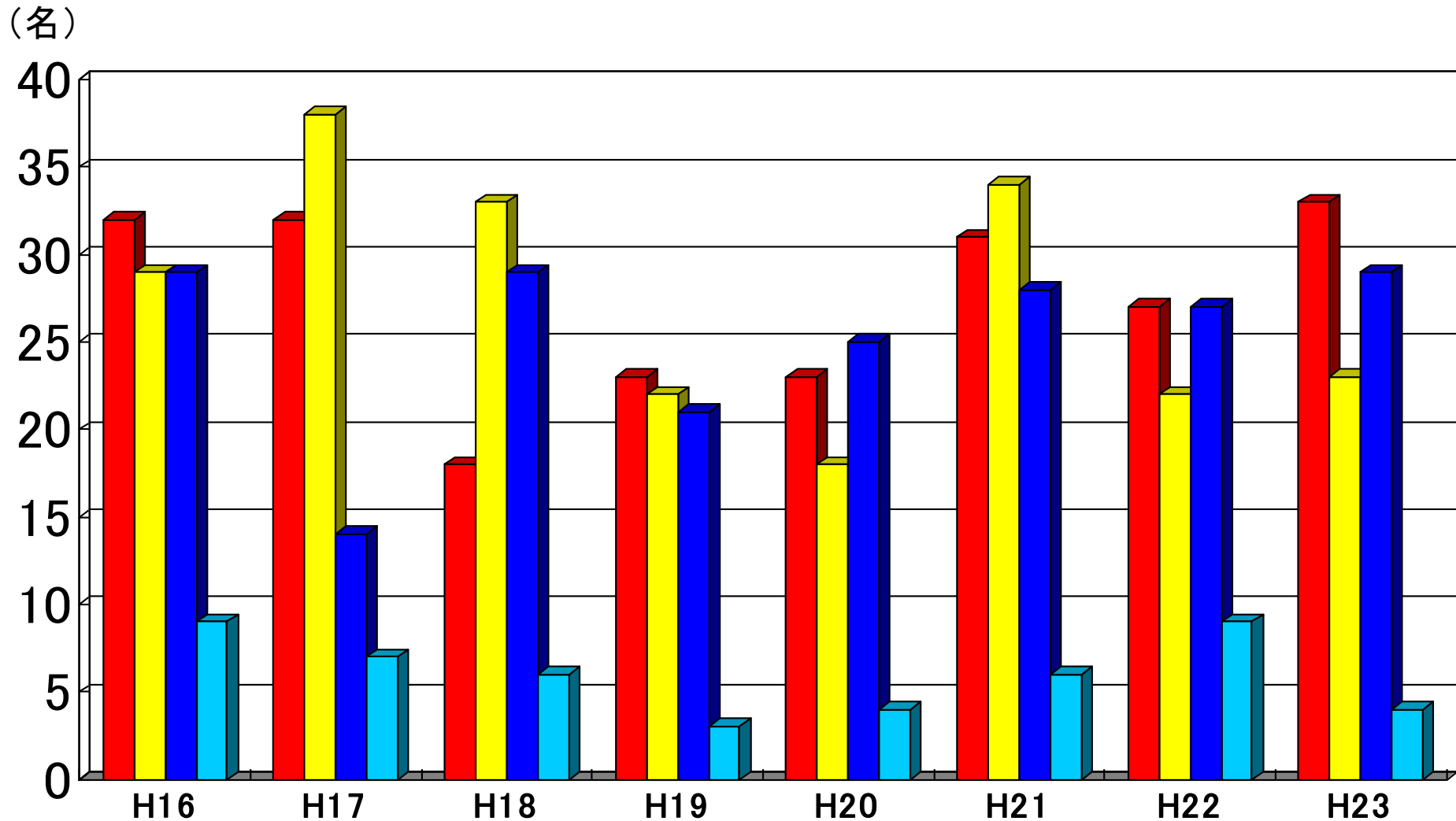
(名)



新潟県内の臨床研修実施者(出身大学別)

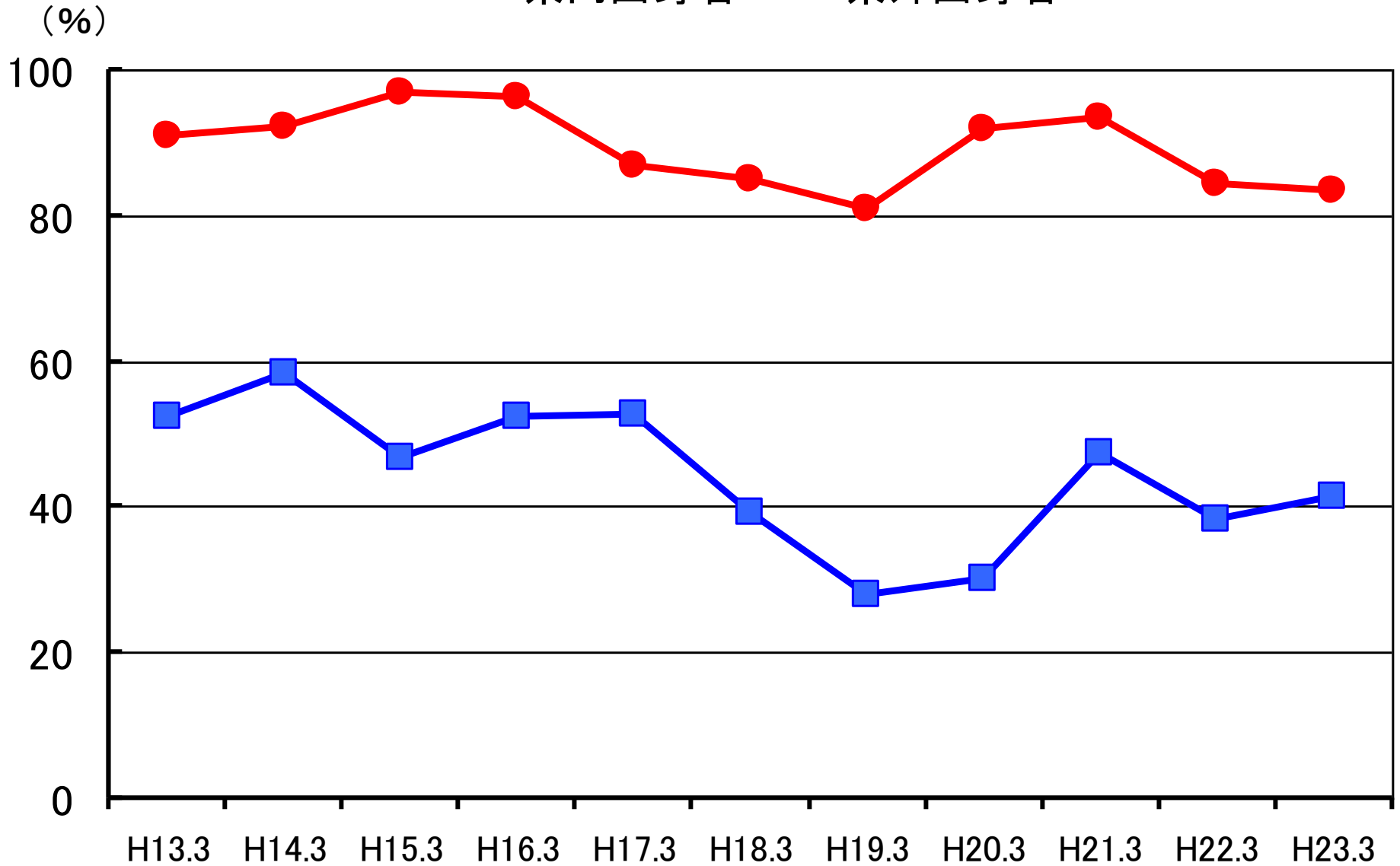


新潟県内の臨床研修実施者(大学・高校別)



新潟大学医学部医学科卒業生の県内定着率

● 県内出身者 ■ 県外出身者



注) 国家試験不合格者, 就職しなかった者を除く

新潟県内で研修を開始した新潟大学以外の卒業生

秋田大学
旭川医科大学
岩手医科大学
愛媛大学
大分大学
金沢医科大学
金沢大学
川崎医科大学
関西医科大学
北里大学
杏林大学
近畿大学
群馬大学
慶應義塾大学
高知大学
埼玉医科大学
佐賀大学

産業医科大学
自治医科大学
島根大学
順天堂大学
昭和大学
信州大学
聖マリアンナ医科大学
千葉大学
筑波大学
帝京大学
東海大学
東京医科大学
東京女子医科大学
東邦大学
東北大学
徳島大学
独協医科大学

鳥取大学
富山大学
日本大学
日本医科大学
弘前大学
福井大学
福岡大学
福島県立医科大学
藤田保健衛生大学
三重大学
宮崎大学
山形大学
山口大学
山梨大学
横浜市立大学
琉球大学

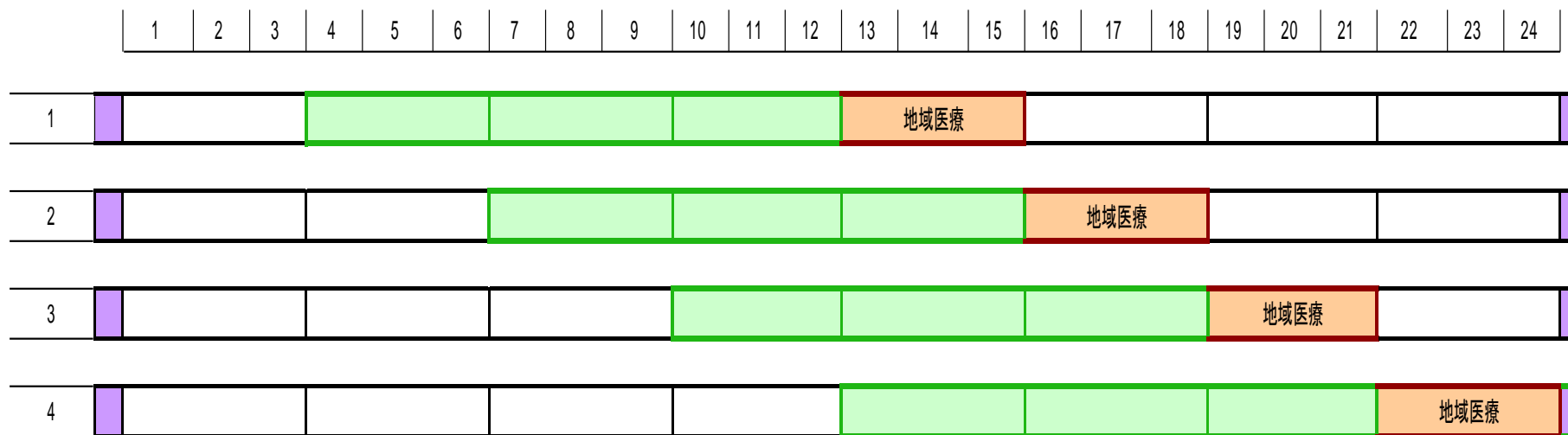
(アイウエオ順)

総勢 50校 250名 (H16~H23)

新潟大学の臨床研修

新潟大学臨床研修病院群研修プログラム

大学病院で12ヵ月、関連病院で12ヵ月研修する



緑色は協力型研修病院研修
茶色は地域医療研修病院研修

4種類のパターン（1, 2, 3, 4）3ヵ月ごとに

協力型臨床研修病院は研修希望者自身が選択可能



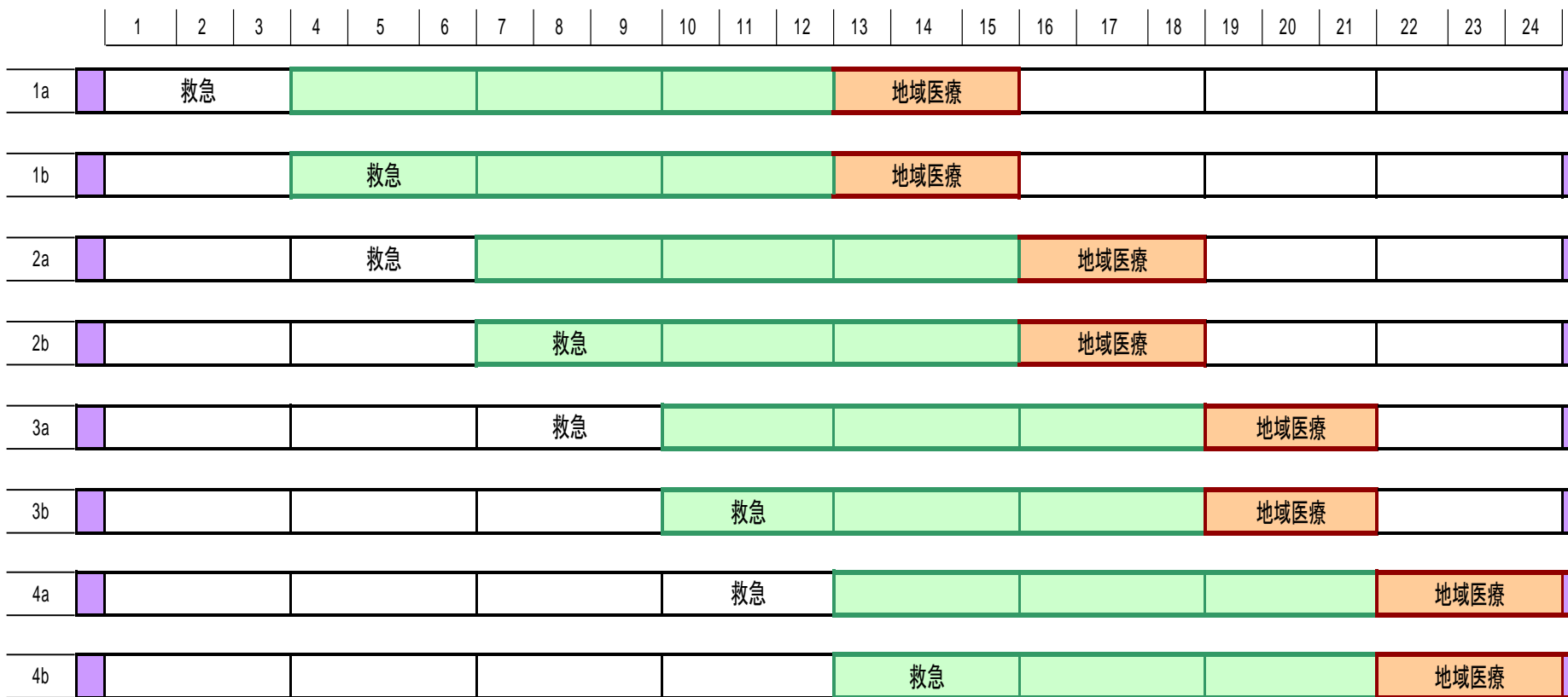
協力型病院がパターン別に受入可能人数を提示し、その中から各自が希望順位を登録

協力型臨床研修病院

- | | |
|---------|----------|
| 県立中央H | がんセンターH |
| 県立新発田H | 長岡日赤H |
| 長岡中央総合H | 済生会新潟第二H |
| 立川総合H | 新潟労災H |
| 下越H | 西新潟中央H |
| 燕労災H | 県立六日町H |
| 県立十日町H | 県立小出H |
| 県立吉田H | 水原郷H |
| 済生会三条H | 三条総合H |
| 村上総合H | 上越総合H |
| 刈羽郡総合H | 糸魚川総合H |
| 佐渡総合H | 小千谷総合H |
| 信楽園H | 木戸H |
| 白根健生H | 新潟臨港H |
| 新潟南H | 南部郷総合H |
| 新潟こばりH | 亀田第一H |
| 秋田日赤H | 竹田総合H |
| 鶴岡荘内H | 水戸済生会H |
| 長野日赤H | |

新潟大学臨床研修病院群研修プログラム

救急研修により 2 種類のサブパターン (a、b)
 aは大学病院、bは協力型病院で救急研修を行う



4パターンと2サブパターンの組み合わせで原則8通り

内科重点コース（研修プログラムA）

必修科目：内科12M，救急3M，地域医療3M

2選択必修科目：外科，麻酔科，小児科，産婦人科，精神科から各1.5M

自由選択：3M（内科6Mを放射線科、小児科、精神科も可）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
1a		救急											地域医療											
1b				救急									地域医療											
2a				救急												地域医療								
2b					救急											地域医療								
3a						救急															地域医療			
3b								救急													地域医療			
4a									救急															地域医療
4b													救急											地域医療

外科系重点コース（研修プログラムB）

外科系:6M

必修科目:内科6M, 救急3M, 地域医療3M

2選択必修科目:外科, 麻酔科, 小児科, 産婦人科, 精神科から各1.5M

自由選択:3M

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

1a	救急																						
1b																							
2a																							
2b																							
3a																							
3b																							
4a																							
4b																							

専門重点コース（研修プログラムC）

必修科目：内科6M，救急3M，地域医療3M

2選択必修科目：小児科，産婦人科，精神科，外科，麻酔科で各1.5M

希望科：9M

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
1b				救急			救急			救急			地域医療												
2a		希望科		救急			救急			救急			地域医療									希望科			
2b		希望科			救急			救急			救急			地域医療									希望科		
3a							救急			救急			救急			地域医療									
3b									救急			救急			救急			地域医療							

○ 専門研修希望科での研修3Mから研修を開始し，希望科研修3Mで研修を修了する

○ 予め希望する診療科と相談の上，面接時に決定する

選択重点コース（研修プログラムD）

必修科目：内科6M，救急3M，地域医療1M

2選択必修科目：外科，麻酔科，小児科，産婦人科，精神科から各1M

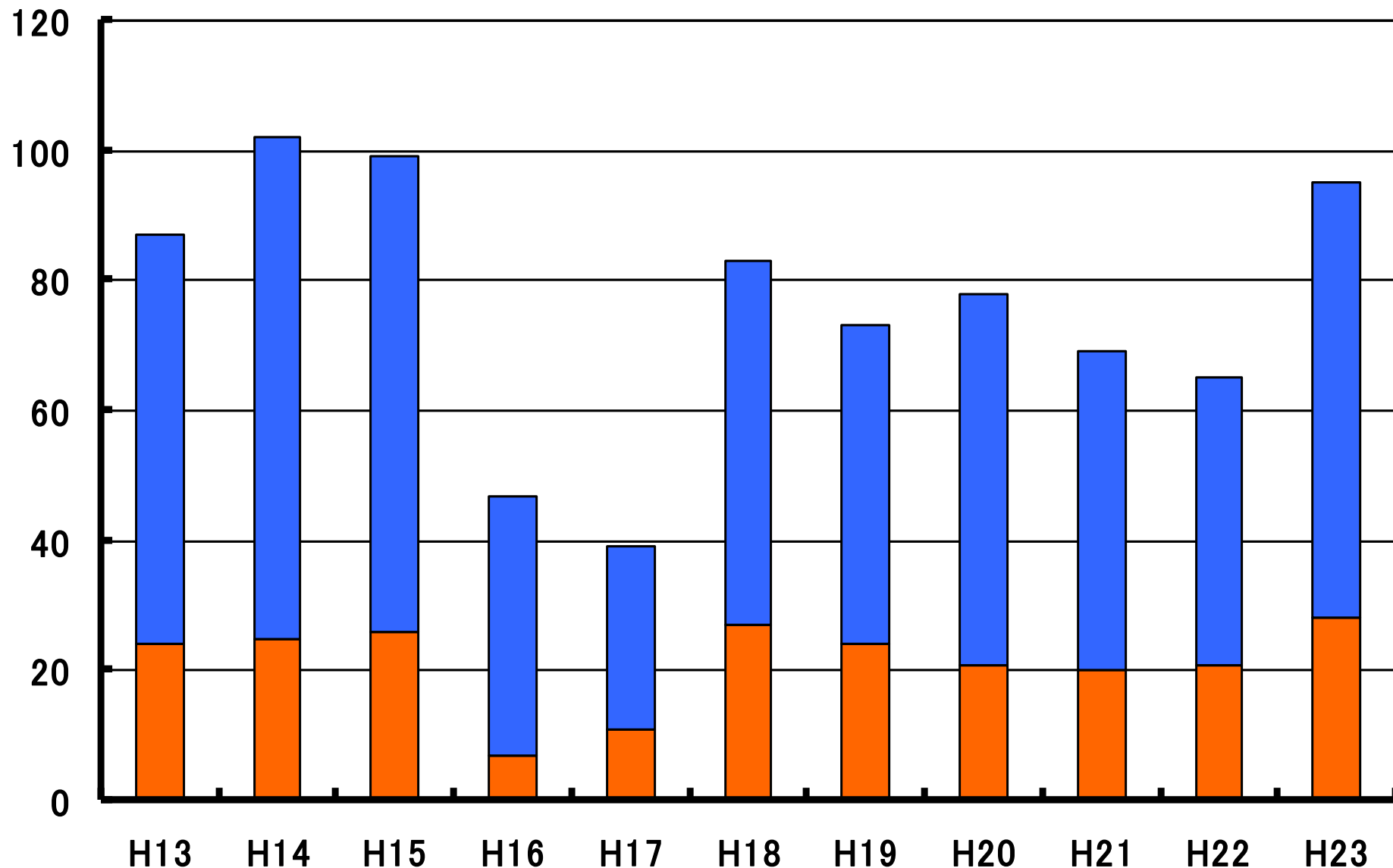
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
1a		救急													地域医									
1b				救急											地域医									
2a			救急															地域医						
2b					救急													地域医						
3a						救急																地域医		
3b								救急														地域医		
4a									救急															地域医
4b													救急											地域医

自由選択：12M

臨床研修終了後の動向

新潟大学新規所属者(いわゆる入局者)数

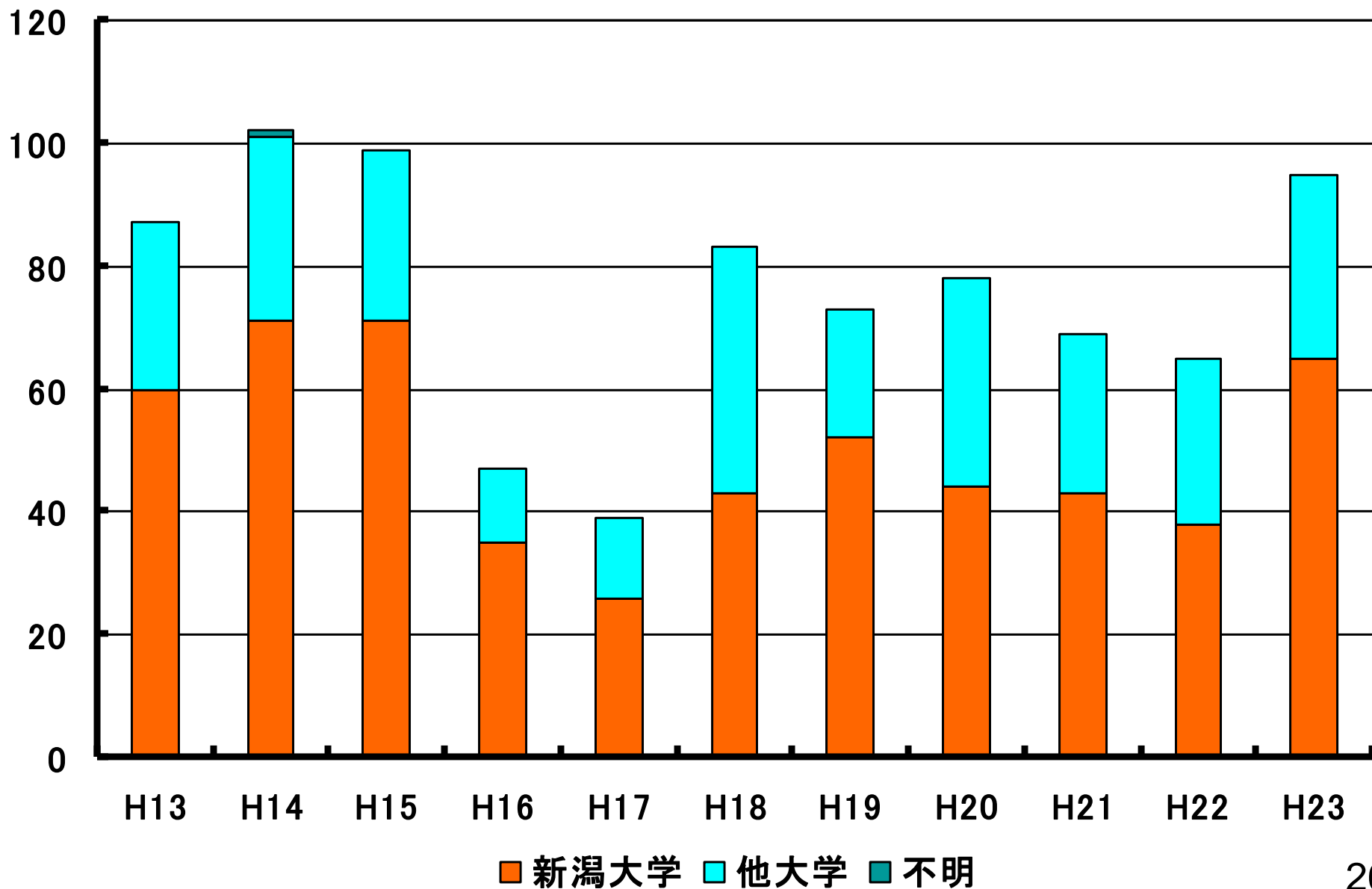
(名)



■ 女性 ■ 男性 (学内診療科からの異動者を除く) 25

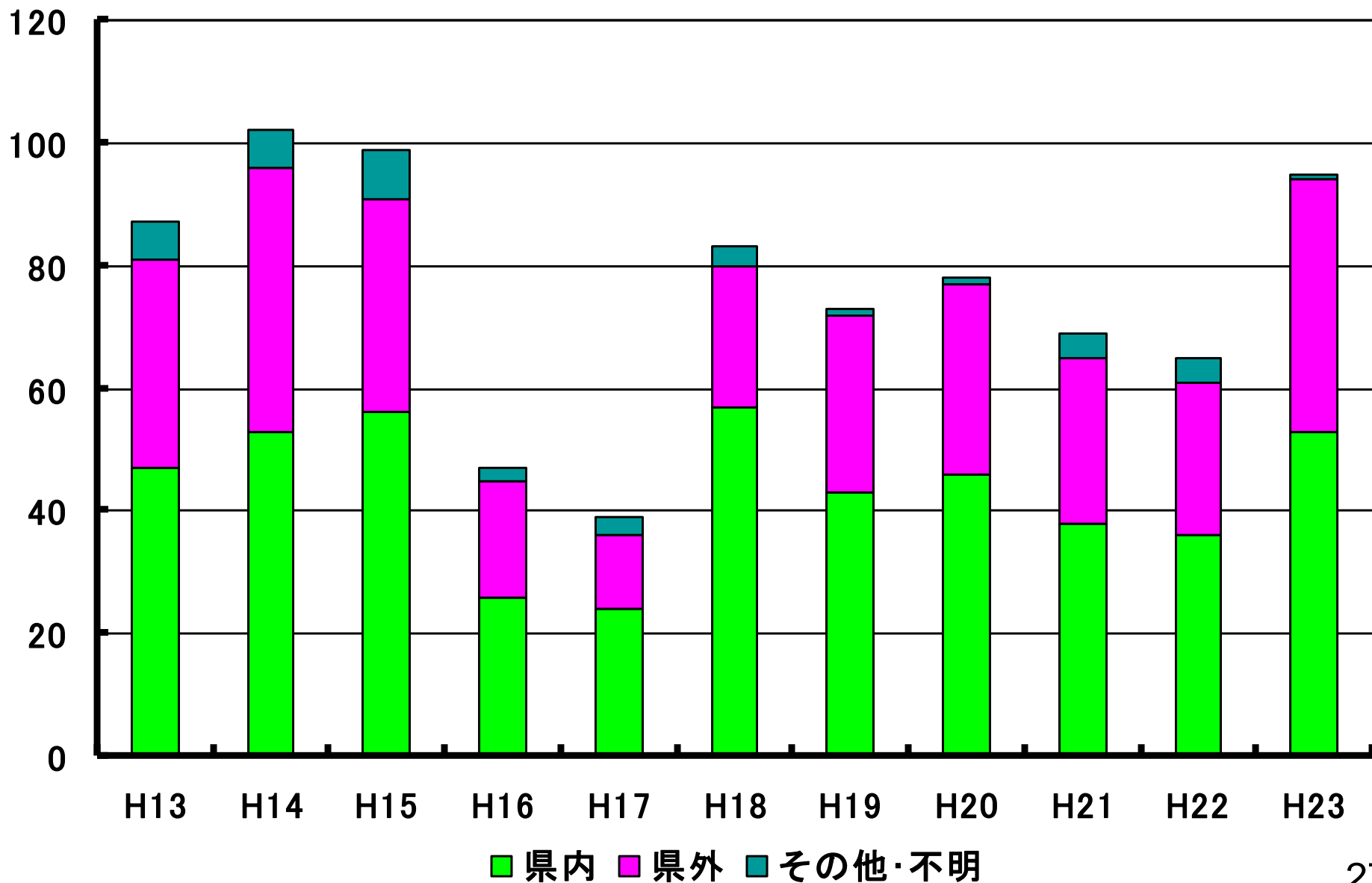
新潟大学新規所属者(入局者):卒業大学別

(名)



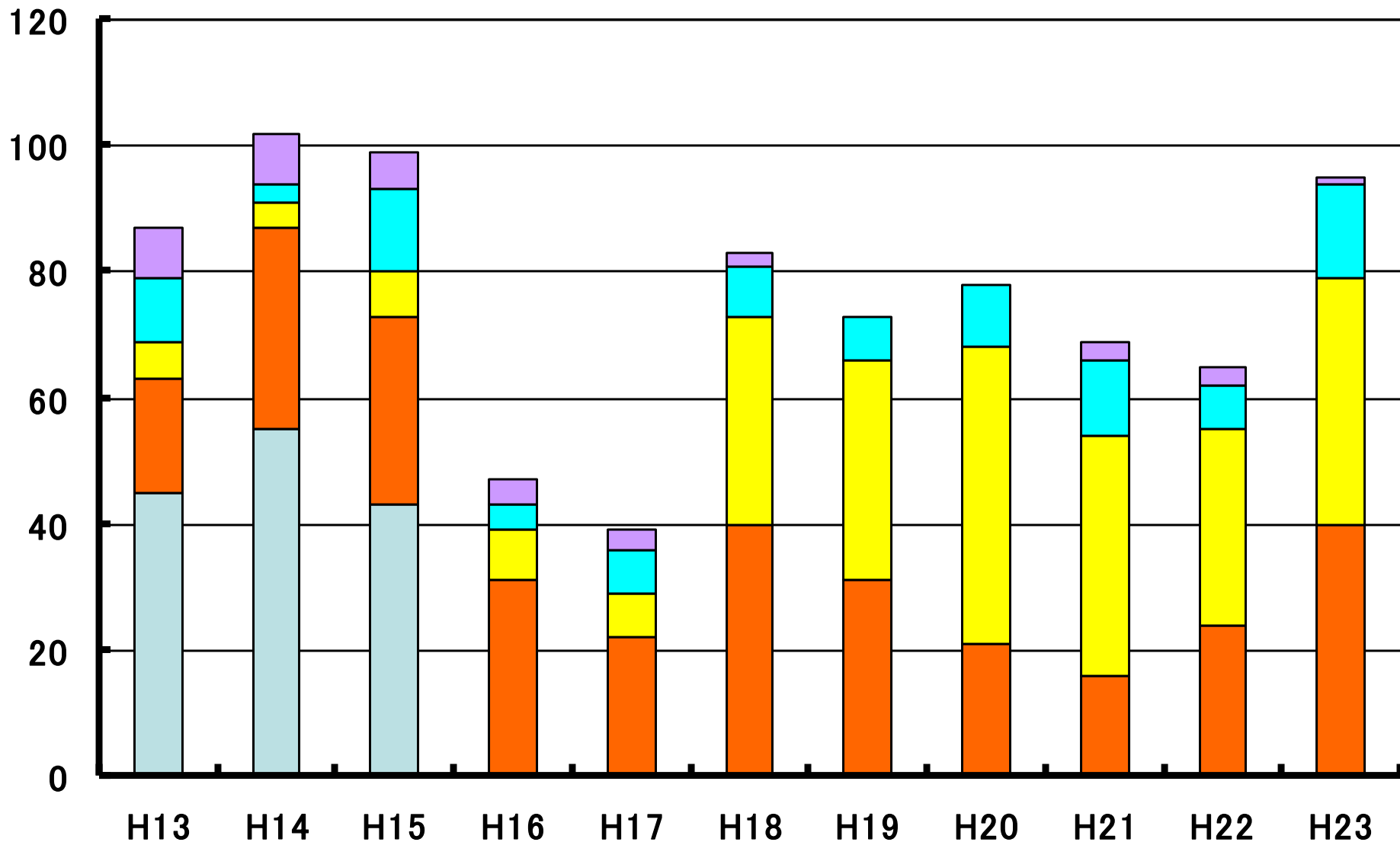
新潟大学新規所属者(入局者):出身県(高校)別

(名)



新潟大学新規所属者(入局者): 臨床研修病院別

(名)



■ 卒後直入局
 ■ 新潟大学病院
 ■ 県内研修病院
 ■ 県外病院・大学
 ■ 不明

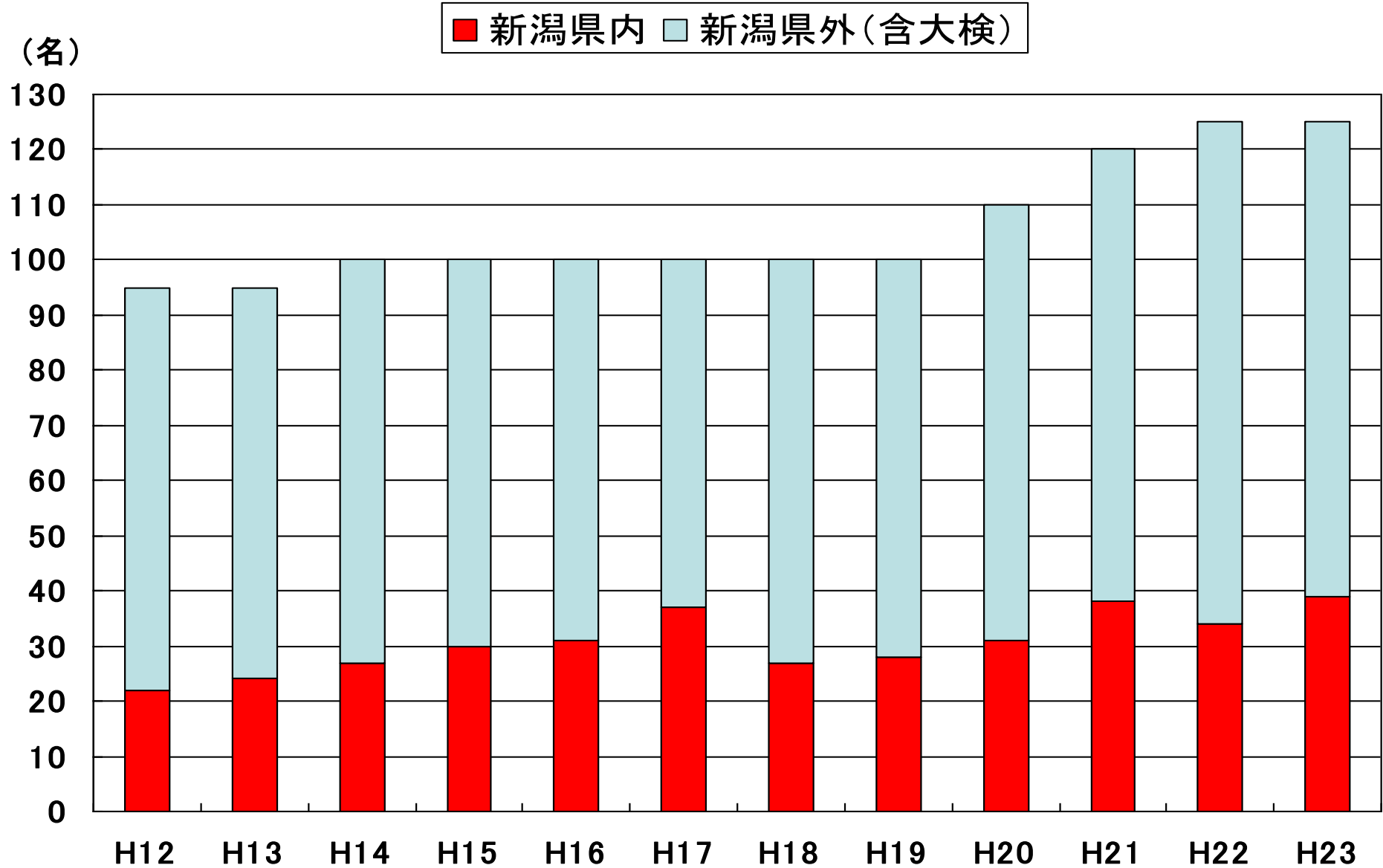
新潟大学と新潟県の取組み

新潟大学医学部医学科定員の推移

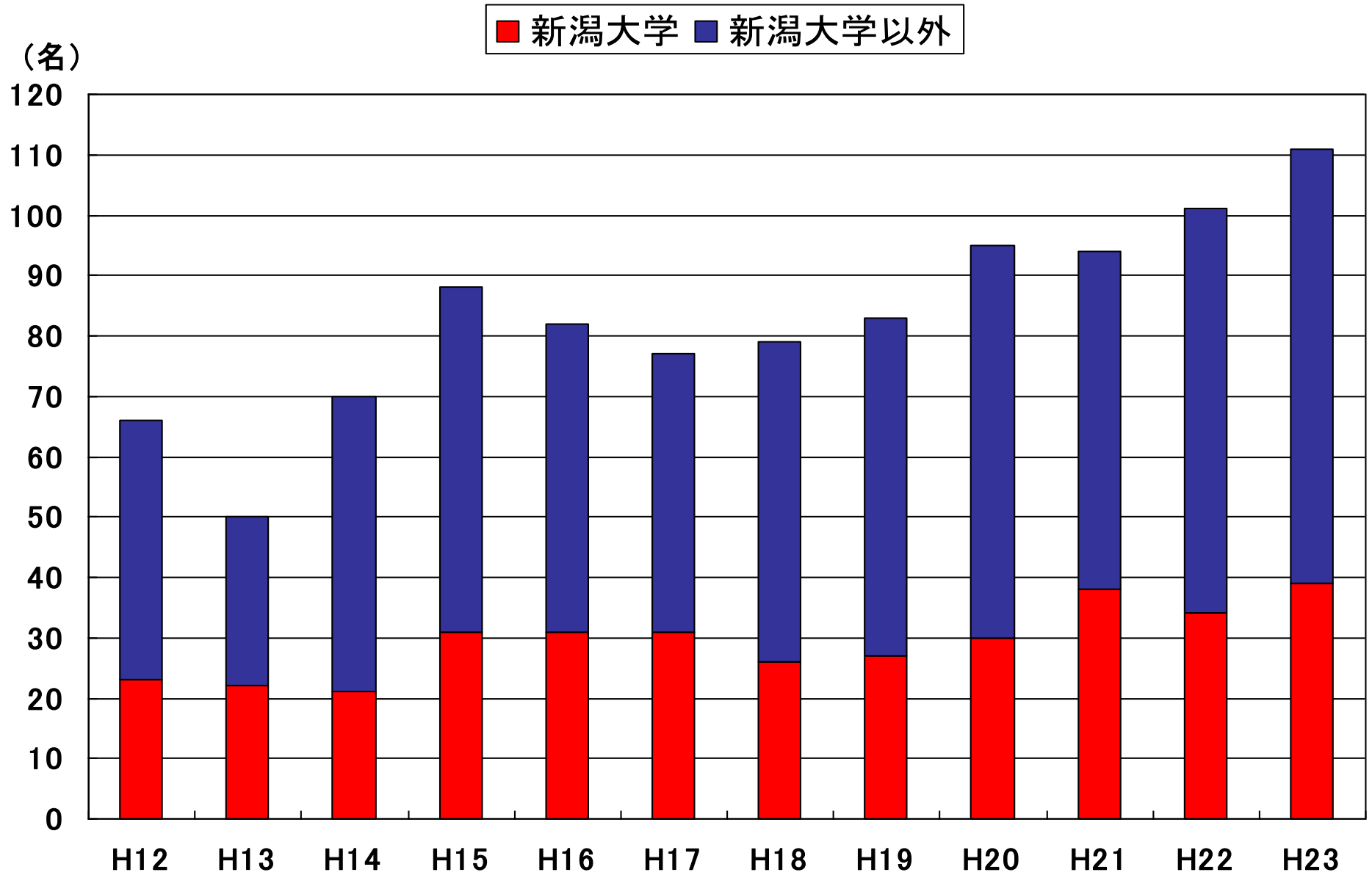
- ・平成19年度までの新潟大学医学部医学科の定員は100人。
- ・「新医師確保総合対策」等の取組により、平成22年度には125人と25人増となった。

年度	一般入学		推薦入学			学士枠	合計	備考
	一般	地域枠	一般	地域枠A	地域枠B			
平成19年度	75人	0人	20人	0人	0人	5人	100人	平成元年～平成19年度までの定員
平成20年度	80人	0人	20人	5人	0人	5人	110人	新医師確保総合対策による10人の暫定増 (H20～29まで)
平成21年度	85人	0人	20人	5人	5人	5人	120人	緊急医師確保対策(地域枠B 5人) 骨太方針による特例措置(一般枠 5人) 計10人の暫定増(H21～29まで)
平成22年度	85人	5人	20人	5人	5人	5人	125人	地域の医師確保等の観点からの定員増 (地域枠 5人、H22～31まで)
平成23年度	85人	0人	20人	5人	10人	5人	125人	一般入学地域枠を廃止、地域枠Bを5人増

新潟大学医学部医学科入学者数調



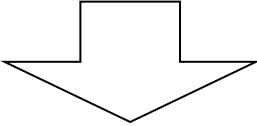
新潟県高等学校医学部進学者数



1 新潟県医師養成修学資金制度の概要

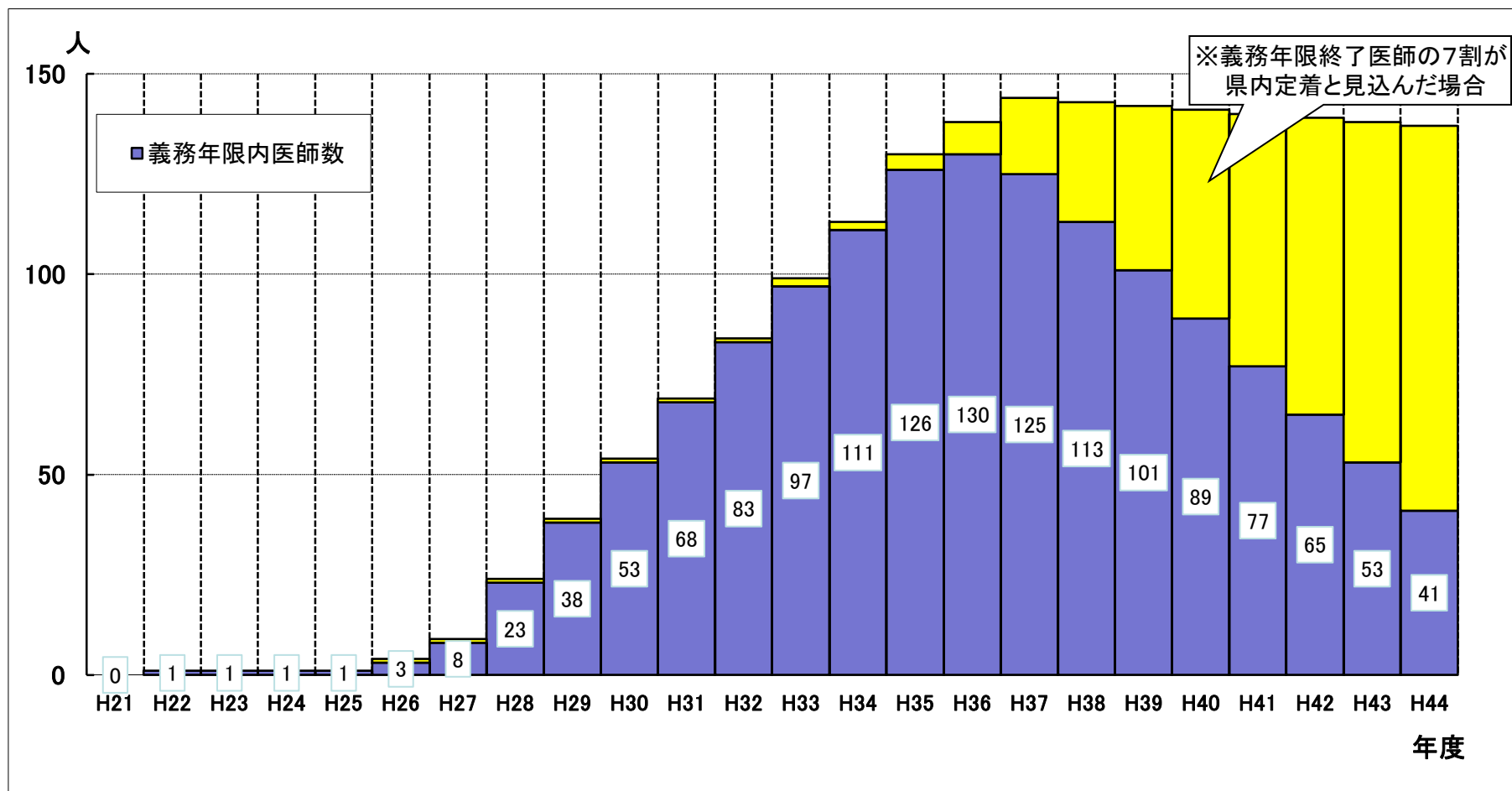
医師免許取得後、県が指定する医療機関に一定期間勤務することなどを返還免除要件とする医学生を対象とした修学資金制度を平成17年度から実施。

※県が資金を拠出し、(財)新潟医学振興会が貸付(H17～H19の間は毎年3市町が事業参加)。

区分	募集期間	貸付内容		累計人数	貸付金の返還免除要件
		定員	月額		
県外医学生枠	H20～	3人	国公立15万円 私立30万円	12人 (卒業1人 →研修中)	<p>○貸付期間の1.5倍の年数(最長9年間、臨床研修2年及びキャリア形成のための研修期間を含む。)を、県が指定する医療機関に勤務した場合は、返還を免除。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>修学生のキャリア形成や医療機関配置の考え方などを検討</p> </div>
新潟大学地域枠B (H22の前期日程地域枠を含む)	H21～31	10人 (H21は5人)	15万円	25人 (卒業なし)	
順天堂大学新潟県地域枠	H22～31	2人	30万円	4人 (卒業なし)	
〈参考〉					
県・市町村共同事業	H17～19	3人	30万円	8人 (卒業3人 →研修中)	○貸付期間プラス3年(最長9年間、臨床研修2年及びキャリア形成のための研修期間を含む。)を、県が指定する共同参加の市町村に所在する医療機関に勤務した場合は、返還を免除。

2 新潟県医師養成修学資金貸与医師数の推移(見込み)

- 「重点コース修学資金」の貸与を受け、医師免許取得後、県が指定する医療機関に一定期間勤務する必要がある医師は、新潟大学医学部地域枠B入学者の卒業が始まる平成27年度以降増加し、ピーク時の平成36年度には、130人に達する見込み。
- 義務期間を終了した医師については、引き続き地域医療を始めとした県内定着を目指す。



3 地域医療を担う医師養成・キャリア形成支援検討委員会

設置趣旨

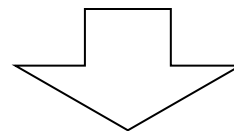
- 1 県修学生が県指定医療機関への勤務だけでなく、引き続き地域医療に定着するための仕組みづくりを検討
- 2 県修学生が地域医療に従事しつつ、医師としてキャリアアップできる仕組みづくりを検討
- 3 地域医療を担う医師の増加に繋がっていくような県全体のバランスを考えた効果的な運用を検討
- 4 県修学生の在学中からのモチベーションと満足度を向上させる方策を検討

委員

新潟大学医学部	医学部長	高橋 姿	◎委員長 県立十日町病院長 長岡赤十字病院長
新潟大学医歯学総合病院	病院長	内山 聖	
新潟県医師会	理事	塚田芳久	
新潟県病院協会	理事	森下英夫	
新潟県厚生連	理事長	末武雅之	
新潟県市長会	魚沼市長	大平悦子	
新潟県町村会	阿賀町長	神田敏郎	
新潟医学振興会	専務理事	鈴木栄一	
新潟県病院局長	局長	江口孝雄	
新潟県福祉保健部	部長	若月道秀	
新潟県福祉保健部	参与	荒川正昭	

スケジュール

- 第1回会議(平成23年8月8日)
議題: 制度の現状、検討課題と論点について
- 第2回会議(平成23年10月13日)
議題: キャリア形成等について
- 第3回会議 平成24年1月下旬予定



- 平成24年度
- 大まかな制度運用について、地域枠を始めとした修学生に順次説明。
 - 具体的な制度運用について、委員会で継続検討。

良医育成新潟県コンソーシアム

(新潟大学病院, 16県内基幹型臨床研修病院, 新潟県で構成)

- 新潟県臨床研修合同ガイダンスの開催(年3回)
- 臨床研修病院見学・実習会の開催(旅費を支給)
- 新潟県臨床研修フォーラムの開催(年2回)
- 県出身県外医学生が集いの開催(東京)
- レジナビフェア(前期研修・後期研修)への参加
- 「ニュースレター」の発行(季刊)
- 「医学生のための新潟県の臨床研修病院案内」発行
- 県内高校訪問と県内高校の医学部訪問

医学部の取組み

- 臨床研修制度プログラムの継続的な改革
- 臨床研修期間：
 - ✓ 必須科目ローテーションと将来を視野に入れた選択
- 地域卒学生のキャリアパス充実
 - ✓ 義務年限終了後の地域定着
 - ✓ 専門医獲得と大学院進学
- 一般卒学生への魅力的な研修プログラム
 - ✓ 多彩な専門医研修プログラム
 - ✓ 大学院の改組による進学率向上